

労働市場の概要（平成28年1月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成28年1月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.53倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が3.8%減少し、有効求職者数(季節調整値)も2.9%減少した。また、新規求人数(季節調整値)が5.5%増加し、新規求職者数(季節調整値)は6.8%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(9.0%減)、宿泊業・飲食サービス業(8.2%減)、医療・福祉(5.8%減)で減少したものの、製造業(6.5%増)、運輸業・郵便業(6.9%増)、卸売・小売業(9.8%増)、サービス業(他に分類されないもの)(2.1%増)で増加したことから、全体では対前年同月比0.7%増と5ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で9.6%減と2ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、平成27年9月以降、5ヶ月連続で1.5倍台となっており、高い水準で推移している。県内の雇用情勢は引き続き改善している。

1 有効求人倍率(季節調整値)

1月の有効求人倍率は1.53倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

(1)有効求人(パートを含む)

○ 1月の有効求人は47,167人で、対前年同月比(原数値比較)で3.8%増加し、対前月比(季節調整値比較)では3.8%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で5ヶ月連続の増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 1月の有効求職は28,487人で、対前年同月比(原数値比較)で3.8%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも2.9%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で36ヶ月連続の減少となった。

(3) 1月の正社員の有効求人倍率は1.08倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

1月の新規求人倍率は2.48倍となり、前月に比べ0.23ポイント上昇。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 1月の新規求人は20,000人で、対前年同月比(原数値比較)で0.7%増加し、対前月比(季節調整値比較)でも5.5%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で5ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	9.0%の減少	(3ヶ月ぶりの減少)
製造業	6.5%の増加	(3ヶ月連続の増加)
運輸業・郵便業	6.9%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)
卸売・小売業	9.8%の増加	(13ヶ月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	8.2%の減少	(2ヶ月ぶりの減少)
医療・福祉	5.8%の減少	(3ヶ月ぶりの減少)
サービス業	2.1%の増加	(3ヶ月連続の増加)

(他に分類されないもの)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 1月の新規求職は7,718人で、対前年同月比(原数値比較)で9.6%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも6.8%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は2ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は565,841人で、対前年同月比1.8%の増加となり、73ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は6,647人で、対前年同月比5.4%の減少となり、受給率は1.2%であった。